

暖かい春はもう目の前 寒さ対策をして体調を万全に整えましょう



毎月18日は「3食ごはんの日」

新しい季節に向けて 3食しっかり食べてパワーを貯えましょう



今年も当JAのイメージキャラクター「シモンちゃん」と栃木市のマスコットキャラクター「とち介」が共演（令和5年栃木市新春賀詞交歓会にて）

特 集

しもつけ



特集 第47回「ごはん・お米とわたし」
作文・図画コンクール表彰式 … 2

特集 新栃木県農業士・名誉農業士認定
… 3

ホームページ



facebook



instagram



<http://www.ja-shimotsuke.jp/>

特集

J Aしもつけ管内で**4名**が**金賞**受賞

その内**1名**が作文部門で**全国入賞**



第47回「ごはん・お米とわたし」 作文・図画コンクール表彰式

第47回「ごはん・お米とわたし」 作文・図画コンクール栃木県表彰式



このほど開催された第47回「ごはん・お米とわたし」作文・図画コンクールでは、県内の小・中学校から作文3,907点、図画3,520点の応募があった中、当JA管内で4名が金賞に選ばれ、1月6日、宇都宮市のJAビルで表彰式が行われました。

栃木県コンクール JAしもつけ管内の金賞受賞者はこちらの皆さんです。

全国コンクール

作文部門1部 全国コンクール優秀賞 金賞
栃木市立南小学校2年 須田凌平さん

栃木県コンクール

作文部門2部 金賞 栃木市立吹上小学校5年 細川由愛さん
作文部門3部 金賞 栃木市立栃木南中学校2年 片柳隆惺さん
図画部門3部 金賞 廿生町立南犬飼中学校3年 田島里紗さん

受賞されたみなさん、このたびは誠におめでとうございます。

Contents

J Aしもつけ 2月号 2023.2

286
No.

2	第47回「ごはん・お米とわたし」 作文・図画コンクール表彰式	8~9 10	しもつけトピックス しもつけ文芸
3	特集 新栃木県農業士・名誉農業士認定	11	直売所通信
4~5	営農トピックス	12~15	しもつけインフォメーション
6~7	みんなのひろば	16	今月のお楽しみ

特集

新たに認定を受けた 栃木県農業士および名誉農業士がJA訪問



1月10日、新たに栃木県農業士および名誉農業士の認定を受けた5人がJAしもつけ本店を訪れ、常勤役員に認定の報告と今後に向けて意気込みを述べました。

長畠光組合長は、あいさつで「名誉農業士の皆さんについては、長年にわたり、下都賀地域の農業界を牽引し続けていただきありがとうございました。

また、新たに農業士になられた方につきましても、地域農業のリーダーとして、その力を余すところなく活躍いただければ幸いです」と呼び掛けました。

09

Top Column

この「トップ・コラム」コーナーは、月替わりでJAしもつけの常勤役員・室部長等が登場し、地域農業・JAについて「今」の「思い」を組合員さんに向けて発信するコーナーです。



金融共済部長
猿山康弘

私たち金融共済部門は、金融事業と共済事業の二つの柱で、農家組合員をはじめ地域の皆さまの農業・生活をサポートしています。

金融事業では、貯金や融資のみならず、組合員・利用者の皆さまの人生100年時代に備えた資産形成・運用をお手伝いすべく、2年前から投資信託の取扱を開始。さらには、今年度より相続相談態勢の充実を図るため遺言信託の取扱を始めました。また、共済事業では、JA共済をご利用いただいていることへの感謝をお伝えし、契約者の安心と満足をお届けするため、定期的にフォロー活動を行っています。

そのため、組合員・利用者の皆さまのニーズに沿った提案やライフプランへの対応など、金融・共済の専門担当者が訪問の際は、お忙しいとは存じますが、お時間をいただければ幸いです。

なお、支店窓口においては、銀行等と同様に監督官庁からの厳しい規制や指導を受けております。そのため、本人確認等の手続きで組合員・利用者の皆さまにご不便をお掛けすることもあるかと思いますが、金融機関としての規則を守らなければなりません。改めて、皆さまのご理解・ご協力をお願い申し上げます。

最後に、当JAの各支店では「わたしたちは、農業・地域・暮らしの中心となり、組合員・利用者に寄り添い、つながることで、安心と満足を提供いたします」を統一スローガンとして、組合員・利用者の皆さまにとってJAが「なくてはならない・必要とされる存在」となれるよう今後とも日々努力してまいりますので、ご愛顧のほどよろしくお願ひ申し上げます。

常勤役員による認定農業者訪問 最終報告

J Aしもつけでは、令和3年12月から常勤役員による認定農業者訪問活動を実施し、令和4年1月までに完了していた3地区（大平地区・藤岡地区・岩舟地区）について令和4年10月号の広報誌で中間報告をさせていただきました。

今回、新型コロナ感染拡大により延期されていた3地区（栃木地区の一部、都賀地区、壬生地区）の訪問活動が完了しましたので、最終報告させていただきます。

1. 訪問件数

報告時期	地区別訪問件数
中間報告	大平地区101件・藤岡地区88件・岩舟地区82件
最終報告	栃木地区144件・都賀地区77件・壬生地区205件

2. 主なご意見

地区	主なご意見
栃木	・肥料・燃料・飼料高騰対策、米価下落、RC荷受体制・利用料値上
都賀	・職員の定期異動、RC荷受体制、苺パッケージセンターの導入
壬生	・肥料高騰対策、とちあいかの栽培、農家減少
大平	・園芸品目有利販売、燃油高騰対策、事業運営委員会への常勤役員出席
藤岡	・米価下落、肥料資材高騰対策、担い手育成、耕作放棄地解消
岩舟	・生産緑地、オヒシバ対策、農地集約

このたびは、貴重なご意見を頂戴いたしまして誠にありがとうございました。

いただいたご意見に対しては、スピード感をもって最善の対応を心掛けてまいります。

今後とも、皆さまのご支援・ご協力をお願い申し上げます。



地域農業の維持・発展に向けて4つの営農組合が統合

藤岡地区で「部屋地区営農組合」が発足



綾部組合長は「組合員29人全員が、安定的に営農を続けていけるように、できることから取り組める活動を一歩ずつ広げていく。そして、将来は我々の地域の農業が成長し、持続可能な農業を確立し、発展できるよう、努めていきたい」と意気込み述べました。

副組合長＝稻葉典之、会計＝大橋 博、監事＝綾部功、幹事＝柳田好夫、同＝海老沼文男、同＝松本進、同＝篠崎文雄、同＝石川悟、同＝栗原弘

—以上

（敬称略）
なお、その他の役員体制については次の通りです（敬称略）

組合を果たしたのは ①西前原営農組合 ②三横営農組合 ③蛭沼南部営農組合 ④両原営農組合の4組織です。12月19日、藤岡地区営農経済センター会議室で設立総会を開きました。4営農組合の役員や部屋地区営農組合役員候補者、県職員、JA職員ら21人が参加。事業計画・営農作付計画、予算書の承認など5議案を審議。その中の役員選任で、組合長に蛭沼南部営農組合で組合長を務めた綾部憲一さんを選任しました。

藤岡町部屋地区の4つの営農組合がこのほど統合し、新たに「部屋地区営農組合」が発足しました。
JAしもつけ管内のブドウ生産組織が昨年12月相次いで総会を開催しました。今年産を振り返るとともに、次年産に向けて気持ちを新たにしました。
なお、大平町ぶどう組合が優績者表彰、岩舟町ぶどう生産出荷組合が昨年6月のハウスブドウ、9月の露地ブドウ各品評会の入賞者を表彰しました。
表彰を受けた皆さんは次のとおりです（敬称略）

【大平町ぶどう組合】

【ハウスの部】
最優秀賞 須藤 明己

【雨除・露地の部】
最優秀賞 須藤 トシ

【岩舟町ぶどう生産出荷組合】

【ハウスブドウ品評会】

最優秀賞	時田 喜代司
特別賞	小林 保治
優良賞	大島 富雄
優秀賞	小林 崇男
優秀賞	上岡 浩志
特賞	木下 正行
優良賞	富山 孝男
優良賞	小林惣一郎
優良賞	佐山 長利
優良賞	小林 三郎
優良賞	小野 孝一
優良賞	新井 弘栄
—以上	

受賞された皆さん、このたびは誠におめでとうございます。



J A管内の全中学校へ 消毒液を寄贈 JAしもつけとJA共済連栃木

J AしもつけとJA共済連栃木はこのほど、同J A管内栃木市と壬生町の全中学校と特別支援学校（中学部）に消毒液を贈りました。1月12日、J Aの長昌光組合長らが、両市町を代表して栃木市の大川秀子市長を訪れ、寄贈式に臨みました。

同取り組みは、J A共済が進める地域貢献活動の一環で、栃木県内の中学校158校と特別支援学校（中学部）15校を対象に、1校あたり消毒液（5リットル）を2個ずつ贈るというものです。

寄贈式では、長昌光組合長が大川市長に「寄贈した消毒液を中心とした感染症予防の一助になるよう、活用してください」と呼び掛けると、大川市長は「コロナ禍になり丸3年となる中、ウィズコロナ時代を過ごす中で、消毒液を有効に使わせていただきます」と応え、J Aに感謝状を贈呈しました。



栃木／S・Sさん／76歳／女性

先月号の表紙「あぐり親子うきうきクラブ」の写真を拝見して、皆さんニコニコ笑顔でうらやましい限りです。ついに閉講式を迎えたのですね。コロナ禍の影響でしょうか、私も友達もみんな足腰が弱くなり、医者通いで泣き顔の1年になりました。

コメント

何かの終わりは、何かの始まりです。「あぐり親子うきうきクラブ」も次年度に向けて着々と準備を進めています。S・Sさんも写真の「あぐりっ子」たちに負けないくらいに、ニコニコ笑顔の1年になると良いですね。



岩舟／H・Yさん／68歳／女性

昨年は不幸が重なりましたが、年末に2番目の孫が生まれ、今年は良い年になりそうです。

コメント

大切な誰かが去り、また大切な誰かが新たにやってくる。まるでリレー競技を見ているようですね。だから立ち止まっている暇はありません。前を向いて走り続けましょう。



このコーナーでおしゃべりをしませんか。農作業のこと、子育てのこと、介護のこと、またJ Aについてのご意見など、今感じていることや思っていることをお便り下さい。（掲載できない場合もあります）

読者からのお便り

日頃のご愛顧に
感謝の気持ちを込めて

みんなの

「シモンちゃん抽選会」

総勢60人の当選者が決定



1月4日、本店で組合員感謝企画「シモンちゃん抽選会」を開きました。長昌光組合長はじめ常勤役員4人が参加。厳正なる抽選の結果、総額100万円相当の賞品を手にする60人の当選者が決定しました。

同抽選会は「JAふれあいまつり」がコロナ禍等の影響で4年間開催できないことに対する代替企画です。抽選会の愛称は、同JAのイメージキャラクター「シモンちゃん」の名前を冠し、組合員に対し、日頃のJA利用に対する感謝の気持ちとJAへの親しみやすさを高めてもらうことを目的としました。



昨年12月1日から23日までの応募期間に、管内の正・准組合員から総計約7,600通の応募をいただきました。ご参加いただいた皆さん、この度は誠にありがとうございました。今後とも、変わらぬご愛顧をお願い申し上げます。

読者からのお便り



栃木/G・Hさん/80歳/男性

我が家は、2代目の兼業農家です。現役時代、私はほとんど野良仕事をせず、会社勤めの妻が休日休まず、親父と米麦作りに励みました。働き者の妻には「お疲れ様でした」と心から感謝しています。

小生も定年後、妻の指導を受けながら本格的に農業に取り組み、早くも傘寿を超えて20年が過ぎました。一方、JAの職員をはじめ、地域の方々ともたくさん交流（旅行・ゴルフ・ボランティア）ができたのも農業のおかげと思っております。

昨今は、同年代の仲間が少しずつ引退し、農機具店の置き場に使われなくなったトラクターやコンバイン、田植機などが並んでいるのを見掛けるたびにさびしく感じます。

コメント G・Hさんの半生がしっかりと伝わるお便りでした。特に、農業を通じてお父様や奥様、そして地域の皆さまとの交流の中で歩まれてきた様子がひしひしと伝わってきますね。これからも、できる限り農作業に励んでくださいね。



大平/T・Cさん/78歳/女性

我が家では、趣味で聖護院大根を使った「切り干し大根」を作っています。もう、20年位続けています。けっこう好評で、皆さん喜んでくれます。いつまでできるか分かりませんが、これからも頑張ります。

コメント

20年も続くと、最早趣味の領域を超えてますね。北関東の空っぽにさらされた切り干し大根はさぞ格別でしょうね。T・Cさん、これからも皆さんのお顔のために切り干し大根づくり頑張ってください。

和牛の肥育・経営とともに日々研鑽 合同会社「たむら畜産」代表社員田村宏樹さん



最優秀賞を獲得した「第46回とちぎ和牛枝肉共励会」の盾と賞状とともに

昨年10月に東京都中央卸売市場食肉市場で行われた「第46回とちぎ和牛枝肉共励会」では、最優秀賞を受賞しました。また、経営の面では、昨年12月に「農業経理士」の称号を取得しました。飼育・経営両面で日々研鑽を重ねています。

合同会社たむら畜産の代表社員田村宏樹さん（31）は、北海道の帯広畜産大学で畜産を学び、在学中の母親の病気を機に卒業後、家業である畜産農家に就農しました。現在、父の昇司さん、姉の松本綾子さんとともに、和牛約180頭を肥育する他、水稻約4ha、稻わら30haを収集しています。

高品質な梨生産に向けて「にっこり」「あきづき」対象の剪定講習会を開催 岩舟町静和梨生産出荷組合



剪定作業のポイントについて説明する講師
(17日、栃木市で)

同組合の須藤幸雄組合長は「にっこり・あきづきは、近年数量が増えています。それだけに、本日の講習会は重要です」と強調した上で「各自が剪定のポイントを再確認して、次年産の栽培につなげていきたいです」と話しました。

岩舟町静和梨生産出荷組合は1月17日「にっこり・あきづき剪定講習会」を開きました。組合員12人が参加。同組合の井上俊男生産技術部長のほ場を使い、県下都賀農業振興事務所職員の指導のもと、剪定作業のポイント等を再確認しました。

大平「愛菜果直売所」で国産農畜産物をPR 「よい食」街頭宣伝



J Aしもつけでも、大平JAグループ栃木は1月18日「やっぱり国産農畜産物推進運動」みんなのよい食プロジェクト2022の第2回統一街頭宣伝活動を行いました。JAしもつけでも、大平JAグループ栃木は1月18日「やっぱり国産農畜産物推進運動」みんなのよい食プロジェクト2022の第2回統一街頭宣伝活動を行いました。

JAしもつけでも、大平JAグループ栃木は1月18日「やっぱり国産農畜産物推進運動」みんなのよい食プロジェクト2022の第2回統一街頭宣伝活動を行いました。JAしもつけでも、大平JAグループ栃木は1月18日「やっぱり国産農畜産物推進運動」みんなのよい食プロジェクト2022の第2回統一街頭宣伝活動を行いました。

JAしもつけでも、大平JAグループ栃木は1月18日「やっぱり国産農畜産物推進運動」みんなのよい食プロジェクト2022の第2回統一街頭宣伝活動を行いました。JAしもつけでも、大平JAグループ栃木は1月18日「やっぱり国産農畜産物推進運動」みんなのよい食プロジェクト2022の第2回統一街頭宣伝活動を行いました。

女性農業者の農作業時の安全と更なる活躍を期待し 農機講習会を開催



栃木市農業委員会とJA全農しおき、JAしもつけは、1月21日、栃木地区営農経済センター周辺のほ場で、女性農業者を対象とした「小型農機具講習会」を開きました。JA管内の女性農業者22人が参加。小型トラクター、管理機、草刈機などの安全な操作方法を学びました。

大規模災害発生を想定した統一訓練を実施 JAグループ栃木



J Aグループ栃木では、万が一の災害発生時にも適切な対応が取れるよう、今後も定期的な訓練を続けてまいります。利用者の皆さまには、窓口営業時間内の訓練についてご理解・ご協力をいただきまして、誠にありがとうございました。

J Aグループ栃木は1月17日、大規模災害統一訓練を実施しました。県内の全JAや連合会が参加。栃木県内全域に震度6強の地震が発生したと想定して、地震発生時の安全確保の指示や二次災害防止のための避難、安否・被害状況の確認など一連の流れを確認しました。

多肉植物を使った寄せ植え教室を初開催 壬生地区女性会



J Aしもつけ壬生地区女性会は11月28日、壬生地区営農経済センターで「多肉植物の寄せ植え教室」を開きました。会員22人が参加。同地区女性会の寄せ植え教室で、多肉植物を扱うのは今回が初めての試みです。小山市の観葉植物専門店「fluffy plants」のスタッフを講師に迎え、寄せ植えを仲間とともに楽しみました。



ひもつけ文芸

俳句

【壬生俳句愛好会】

放ちたるあと直立弓始
捨人の面して老猫帰りけり
小春日や子守の爺のひとくどき
生け花の水飲む猫や生欠伸
年暮父にもありし艶ばなし

山川 都
大田 和子
戸崎みどり
木村 伝一
伊沢 克明

寒鴉我に一声わかれゆく

佐藤 榮江

短歌

【三杉句会】

余所ゆきの挨拶交はし雑煮かな
富士の雪屠蘇に酔うたか茜色
子に引かれリハビリがてら冬の街
熊倉敬枝

新年の我が家伝同胞（はらから）と幸
を願つておせち用みて 泉 幸代（栃木）
曾祖母婆おめでとうと次々にお年玉喜ぶ顔
の何と可愛い 毛塚 雪（都賀）

【うづま吟社】

後夜明けて屠蘇を囲める僧も老ゆ 黒川弘賢

薬用の屠蘇の神秘を酌めるかな 大出義子

着膨れてくぐる暖簾や妻病めり 長澤俊幸

夫の忌や書齋にピツケル冬帽子 村田祐紀

リハビリの着替へもどかし四日かな 小出典子

歳積める際物売りや北風 読初や子の手土産の文庫本

数の子食む長寿の糸を賜りて 歌留多読む幼にすこし加勢して

七種とならねど七日粥とせむ 田中政子

新郎の決意も聞けり年始客 川俣ミチ子

コロナ禍の収束願ふ大どんど
煩惱のままに生き来し除夜の鐘 熊倉敬枝

頬風の老いのスキーも志賀の峰 関塚トヨ子

紺碧へ飛翔の鳶や初筑波 岩瀬とき子

魚子（ななこ）てふ母の衣羽織る松の内 岩瀬とき子

「一枚舌」外国人も使います 黒須笑夢（大平）

新年の我が家伝同胞（はらから）と幸
を願つておせち用みて 泉 幸代（栃木）
曾祖母婆おめでとうと次々にお年玉喜ぶ顔
の何と可愛い 毛塚 雪（都賀）

お天気カレンダー

一輪ほどの暖かさ

梅干しや梅酒などを作るため、6月には梅仕事をする人も多いと思います。私も毎年梅仕事を楽しみにしています。梅の種類を大きく二つに分けると、実を食用とするための実梅、花を観賞するための花梅があります。梅は梅雨時に収穫の時期を迎えるますが、花が咲きますのは1、2月ごろです。気象庁の生物季節観測によると、梅開花の平年は、東京で1月22日、大阪で2月13日です。一年の中で最も気温が低くなるのが、1月下旬から2月上旬ですから、梅の花は最も寒い時期に咲きます。

2月4日は立春です。立春は寒さの底で、立春を境に暖かい季節に向かっていきます。冷たい空気の中に、ほっこりと咲く小さな梅の花に少しだけ春を感じられます。まさに「梅一輪一輪ほどの暖かさ」（服部嵐雪）です。梅の花一輪に暖かさを感じられる、繊細な心を大切にしたいとあらためて思いました。



気象予報士●檜山 靖洋

写メールは社会人なる春着の子
初曆野菜づくりやカラフルに
妣よりの味を守れる雑煮かな

知久新一
福田千代
高橋みち子

【大杉句会】

金色の飛行機雲や初御空
鹿島灘沖の円るさや初日の出
玄関へ祖父直伝の松飾り
歳積める際物売りや北風

田中政子
大橋正義
大出義子
川俣ミチ子

数の子食む長寿の糸を賜りて
七種とならねど七日粥とせむ
新郎の決意も聞けり年始客
コロナ禍の収束願ふ大どんど
煩惱のままに生き来し除夜の鐘

下村 孝一
館野 操
岩瀬とき子

川柳

福寿草若芽の根本霜柱

上岡隆三（藤岡）

石川トク（藤岡）

針供養お針子たちも骨休み

黒須笑夢（大平）

短歌・俳句・川柳の投稿は各支店または本店総務課まで
ご用意ください。
締め切りは毎月8日、一人一首（句）でお願いします。
作品は楷書で丁寧に書いてください。

佐武 朗（岩舟）

直売所通信

J Aしまつけ管内で農家さんが丹精込めて育てたおいしい農産物を食卓へお届けする直売所の旬な情報をお伝えします。



じっくりと育ったイチゴはこの時期、特に「濃厚な味」で店長イチオシです♪

「とちあいか」「スカイベリー」「とちあとめ」を
特別価格ご販売いたします！



イチゴの日
2月15日(水)

※商品は十分に用意を致しますが、商品によっては売り切れてしまう場合がございます。
また、店舗によって取扱い品種が異なることがあります。

《各地区直売所でイベント開催》

栃木 よっとこれ 都賀 生出宿
壬生 いなばの郷 大平 愛菜果

「この時期」直売所の売れ筋商品！「ほうれん草」と「たまご」を使った
「ほうれん草のふんわり卵焼き」はいかがでしょうか♪



材料 2~3人分

卵 2個
ほうれん草 2束
だしの素(顆粒) 小さじ2
水 大さじ1



1. ほうれん草を洗って耐熱皿に並べ、600Wの電子レンジで30秒程加熱し、やけどに注意しながらみじん切りにする
2. ボウルに[1]のほうれん草・卵・だしの素・水を入れ混ぜる
3. 卵焼き器に[2]を2~3回に分けて巻いていく。巻き終わったら出来上がり♪

<JAしまつけ青果店が大好評運営中>

オンラインショップ「JAしまつけ青果店」でも、旬のイチゴをはじめとする新鮮な農作物を販売しています。

詳しくは右のQRコードからご覧ください。

JAしまつけのホームページにバナーがありますので、そちらからもご覧になれます。



2月の
ポチカ
ポイント3倍デー



2月 8日(水)・11日(土)
22日(水)・25日(土)

※ 組合員感謝企画「シモンちゃん抽選会」において、3等「直売所利用券」が当選された方は、使用期限が2月28日までとなっております。お早めにご利用下さいようお願い申し上げます。

生産者&JA 全国一万人以上の声を反映

共同購入トラクター SL33L 基本型式 中型クラス 33馬力

生産者の営農規模と栽培品目の拡大を支援する

- 価格を安く
- 必要な機能を豊富
- 快適・安全な作業性
- 様々な作業への汎用性

大容量48L 燃料タンク
ノーカラッヂ変速

SL33LFMAEP
ローブ仕様 285万円
メーカー希望小売価格

JAグループ / 全農

JAグループは生産者の要望を取りまとめ、一括発注を行うことで、メーカーは製造・流通の効率化を図り、生産者へ価格メリットを還元します。

お問い合わせ しもつけ広域農機センター Tel 0282-29-7033

しもつけ広域農機センターからの お知らせ

NEWS

共同購入トラクター 提案活動の取組みが評価

しもつけ広域農機センター
河田勝利調査役

しもつけ広域農機センターの河田勝利調査役がこのほど、令和2年度から令和3年度の共同購入トラクター提案活動の取り組みが評価され、表彰を受けました。



【組合員の皆さまへ】 Aコーポ 商品のご案内

このコーナーでは、Aコーポのおすすめ商品をご紹介いたします。

エーコープもちもちミルクパンに 新作、みかん味が登場！

国産小麦・米粉を使用することでふんわり、しっとり、もちもち食感を実現しています。

生地に練りこまれた国産みかんの甘みと酸味が絶妙にマッチします！

お買い求めは
お近くの JA 店舗か JA 直売所まで！

- | | | | |
|----|---------|----|---------|
| 栃木 | 27-7771 | 大平 | 43-0803 |
| 都賀 | 27-5792 | 藤岡 | 62-4336 |
| 壬生 | 82-2981 | 岩舟 | 55-5518 |

**新発売 エーコープ もちもちミルクパン
みかん味**

オリジナルブレンドの国産小麦粉と国産牛乳を使用したもちもちミルクパンの新フレーバーにみかん味が登場！

国産みかん 使用

さわやかな甘みとほのかな酸味の
みかん味

美味しさの秘密

国産小麦を使用すること
でふんわり、もちもち食感!!

小麦粉を練るときに、
生乳を配合することで
自然な甘さ!!

国産米粉を配合で、
しっとりした食感が持続!!

徹底的な衛生管理と、
アンチモールドで、
美味しさ長持ち!!

*「アンチモールド」とは、アントモールド剤のこと。セラゲンなどの成分を配合することで、パンの表面にアルコールの香りが立ちます。これによって細菌によるカビの繁殖を防ぐことができます。



令和5年度（3月～令和6年2月） JAしちもつけ女性会員募集！！

J Aしちもつけ管内在住（栃木市（西方町除く）・壬生町）にお住まいの20代以上の女性（農家で無くても大歓迎）

年会費 1,000円



各地区講座・行事、本部開催行事に参加いただけます。

お住まいの地区で入会していただきます。詳しくは下記の事務局までお問い合わせください。

栃木地区女性会（27-6511）	都賀地区女性会（20-8828）
壬生地区女性会（82-1103）	大平地区女性会（43-0800）
藤岡地区女性会（62-4336）	岩舟地区女性会（55-3211）

令和5年度 JAしちもつけ菜の花会（若妻会）会員募集！！



当JAでは、若い世代を中心として活動する「菜の花会」組織があり料理教室・手芸教室・親子（母・子）バスツアーなど、様々な活動で会員の交流を深めています。現在、32名の会員で活動中です。

今回、会員を募集するにあたり、菜の花会の活動をご理解頂き、一緒に盛り上げて行きましょう。

対象者 JAしちもつけ管内（栃木市（西方町を除く）・壬生町）にお住まいの20代～40代の女性（農家で無くても大歓迎）

年会費 500円

令和4年度活動

いちごジャム作り材料提供、ピラティス講座、親子食農体験バス旅行、寄せ植え教室、味噌作り講座、ペットボトルキャップ回収運動（年2回）

申込締切 令和5年4月10日（月）

申込方法 JAしちもつけ営農経済部 営農企画課 電話（20-8828）又はメール（s-kouhou@ja-shimotsuke.or.jp）でお申し込み下さい。

①お名前 ②住所 ③電話番号 ④生年月日

後日、こちらからご連絡させていただきます。

お一人又は、グループでの加入もお受け致します。

会員様への活動開催はメールでご案内させていただいております。



令和5(2023)年農業用免稅輕油に係る 一括交付期間後の申請について

農業用の輕油引取税免稅証については、市町ごとに申請期間を設けて申請の受付をしております。

今回、期間内に申請出来なかった方について、下記により申請を受け付けますので、交付を希望する方はご利用ください。なお、今回の申請期間を過ぎますと、1年分の全量交付ができないことがありますので、御留意ください。

1. 受付日、受付時間

令和5(2023)年3月2日(木)、3月3日(金)

各日とも午前9:00~11:30、午後1:00~3:30

2. 会場

下都賀庁舎 第2福利厚生棟 2階会議室

(栃木市神田町6-6)

3. 対象地区

栃木県税管内全ての市町

(栃木市、小山市、下野市、壬生町、野木町)

4. 申請の際に持参するもの

- (1) 免稅輕油使用者証
- (2) 免稅輕油の引取り等に係る報告書（※新規申請以外の方）
(納品書又は領収書を添付、写しでも可。未使用の免稅証を添付(原本))
- (3) 使用者証更新手数料 420円（※新規申請及び使用者証更新の場合）
- (4) 耕作証明書（※新規申請及び耕作面積が変更になった場合）
使用者証更新のみの場合、耕作証明は不要です。

注： ①新規申請の方は、免稅証の交付は後日になります。

②新規申請及び免稅機械の追加や入替えをされる方は、機械を取得したことが確認できる書類（契約書・納品書・領収書等）を持参するか、機械の「メーカー名」「型式」「馬力」をメモ等に控えてください。

③更新手数料420円は、つり銭の無いよう御協力をお願いします。

④国税及び地方税の差押え等の滞納処分を受けられた方は、処分解除の日から2年を経過しなければ申請できません。

⑤新型コロナウイルスによる感染症の拡大防止のため、マスクの着用及び手指の消毒の御協力をお願いします。また、発熱や風邪の症状がある方は、来場を見合わせるようお願いします。

5. 問合せ先

○栃木県税事務所 軽油引取税調査担当 TEL0282-23-6882

2月しもつけインフォメーション

第10回 理事会報告

日 時：令和4年12月27日（火）
午後3時より
場 所：アプロニー5階 エメラルドホール
(1)11月末実績検討について
(2)令和4年度上期監事監査改善回答書について
(3)令和5年度事業計画の考え方について
(4)職制規程（職務権限表）の一部改正について
(5)グリーンファームしもつけにおける費用の支出について
(6)職員採用規程、福利厚生規程、臨時職員等就業規則及び旅費・実費弁償規程の一部改正について
(7)営農経済部門機構再編計画（案）について
(8)非課税上場株式等管理および非課税累積投資に関する規程の一部改正について
(9)その他

経済店舗休業のお知らせ

決算棚卸のため、下記のとおり店舗を休業させていただきます。

組合員の皆様には何かとご不便をおかけいたしますが、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

店舗休業日

令和5年
2月28日（火）
午後1時～休業



生産者の皆様へ

新規需要米販売手数料改正のお知らせ

令和4年11月29日に開催した理事会において、下記のとおり新規需要米の販売手数料改正が承認されましたのでご報告申し上げます。



【改正の主な理由】

①令和3年産の米価下落を受け、10aあたり生産者手取り額の高い新規需要米を積極的に受付しました。これにより米事業収支の柱である買取米集荷数量が大幅に減少しています。主食用米の相場は回復傾向にあるものの、令和5年産まで続く新規需要米の複数年契約や、農政をめぐる環境変化の影響を考慮した場合、新規需要米への偏重は今後も続くものとみています。

②令和4年度に計画した営農経済事業の成長・効率化プログラムでは、JAの販売事業を強化し、組合員の負託にこたえていくためには、保管を含む米事業の収支改善とさらなる発展が必要であるとの結論に至りました。

JAでは生産者手取り最大化に向け、令和4年～6年の3カ年計画において、新規需要米の精算金向上を目指として設定しています。今後も、米粉用米、飼料用米の有利販売に努めてまいります。

【改正の内容】 現行 229円/俵(税別) → 改正後 457円/俵(税別)

【改正適用日】 令和5年産より適用

【お詫びと訂正】

※1月号5面で「JAしおのや」となっていた部分は「JAしもつけ」の誤りです。訂正してお詫び申し上げます。

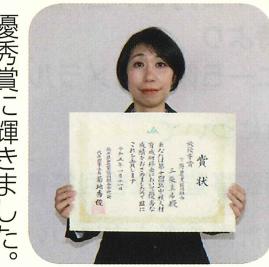
2月

今月のおつ!楽しみ

このコーナーでは、地域で活躍する皆さんの紹介や大好評「クイズコーナー」、広報誌の編集担当者がチラッと語らせてもらう編集後記をお送りいたします。

「第14回JA中核人材育成研修会」
で最優秀賞

金融共済部の三柴真希調査役



金融共済部
貯金為替課の
三柴真希調査
役が第14回JA
中核人材育成研修会で最優秀賞に輝きました。

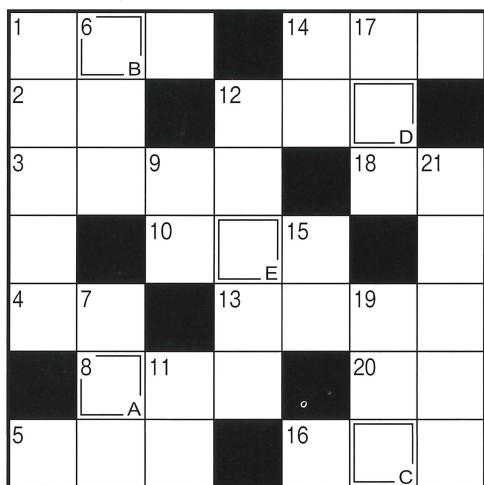
県内9JAから16人が受講し、昨年5月から23回にわたり大学教授や各分野の専門家、中央会専任講師などによるマネジメントやリーダーシップ論、ケーススタディーなどの講義を受けました。審査は、事前に提出された課題なども含め、論文の内容や発表時の話し方、表現・態度といった観点から審査員3人が審査にあたりました。

三柴調査役は「論文でまとめた内容を今後の自らの業務に活かしていくべきだと思います」と意気込みます。

パズル? 頭の体操

二重マスの文字をA~Eの順に並べてできる言葉は何でしょうか?

出題●ニコリ



1月号

まちがい探しの答え

①…木の上の雪が多い

⑦…ろうそくの溶け方が違う

④…眉の形が違う

⑪…かごから落ちたリンゴがミカンになっている

⑥…コップの形が変わっている

⑫…かごから落ちたリンゴがミカンになっている

「読者からのお便り」「まちがい探し(クロスワードパズル)」へのご参加お待ちしています

お便りをいただいた方に抽選でステキな商品を差し上げます。ハガキ・封書での郵送、ファックス、Eメール、あるいはJA職員にお渡しください。締切は毎月20日(20日が土・日・祝日の場合は、その次の営業日)必着。なお、感想やコメントは『読者からのお便り』に使用する場合がありますので、ご了承の上ご応募ください。

1月号の当選者

1月号の当選者はこちらの方です。おめでとうございます。



柳田 国樹さん(壬生)

【あて先】

〒328-0053 栃木市片柳町2-1-44

J Aしまつけ総務課 広報係

【FAX】0282(24)7882

【Eメール】hp-info@ja-shimotsuke.or.jp

①「おたのしみコーナー」の答え

②「読者のお便り」へのコメントや広報誌の感想、最近思う事

③郵便番号、住所、氏名(ふりがな)、年齢、電話番号をお忘れなく

編集
後記

毎年のことながら早いもので、JAの事業年度は2月で終わりを迎えます。今年度も読者の皆さまはじめ、多くの方々のご協力をいただき広報誌「しまつけ」を発行することができました。来年度以降も、変わらぬご愛顧をよろしくお願い申し上げます。(編集担当 T)

No.286

令和5年2月1日発行 下野農業協同組合

編集・発行/企画総務部 総務課

〒328-0053 栃木市片柳町2丁目1番44号 ☎ 0282(24)1180